




ALESIS

NITRO
DRUM MODULE

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://alesis.jp/>

ALESIS <お問い合わせ>

inMusic Japan 株式会社
カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23
オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

はじめに

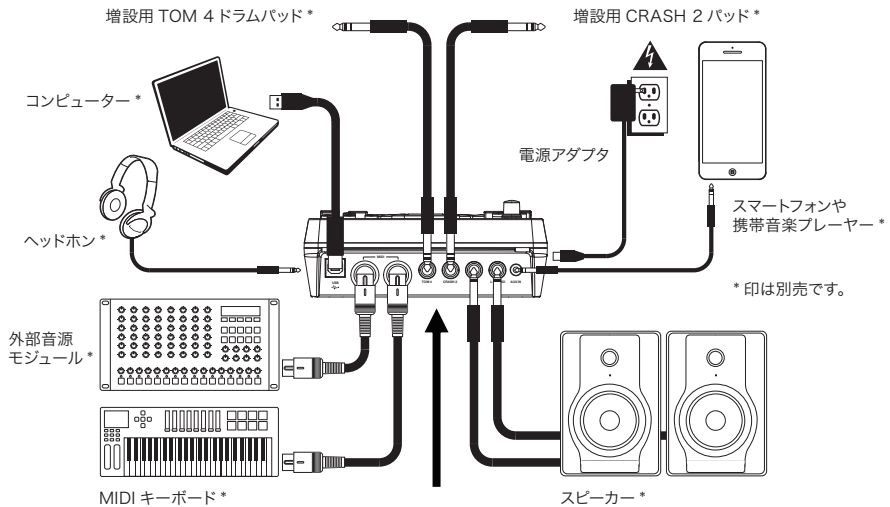
サポート

NITRO KIT の最新情報（システム要件や互換性など）につきましては、製品ページをご覧ください。
<http://alesis.jp/nitro-kit/>

Alesis 製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。
<http://alesis.jp/support/>

クイックスタート / 接続例

セットアップと演奏



1. 付属のスネークケーブルを使用して、各パッドと NITRO モジュール裏面のコネクタを接続してください。
2. もし、キットに含まれていない増設用のタムやシンバルパッドを接続する場合は、それぞれ、**TOM 4 入力端子**、**CRASH 2 入力端子**に接続します。
3. NITRO モジュールの**出力端子**にスピーカー（別売）を、ヘッドホン（別売）は**ヘッドホン端子**に接続します。NITRO モジュールの**ボリューム**は絞っておきます。
4. 付属の電源アダプタを NITRO モジュールと AC コンセントに接続します。
5. モジュールの電源を入れます。
6. モジュールの**ボリューム**を徐々に上げ、適切な音量に調整します。

ドラムキットを選ぶには：モジュールの電源を入れた後、**KIT** ボタンを（何度か）押すとディスプレイにキットの番号を示す **NUM xxx** が表示されます。そこで、◀|▶ボタンを使って、任意のドラムキットを選択します。また **PAD SELECT** ボタンを押して、パッドに割り当てられたサウンドのプレビュー再生が可能です。キット 01～24 はプリセットキット、キット 25～40 がユーザーキットです（詳しくは、**ドラムキットの編集と保存**の項目をご参照ください）。

注意：もし、**SONG/PATTERN** ボタンの上の LED が点灯していない場合は、**PAGE/SELECT** ボタンを、その LED が点灯するまで長押ししてください。

メトロノームを使用するには：メトロノーム機能をオン・オフするには、**CLICK** ボタンを押します。テンポの変更は、**TEMPO** ボタンを押して BPM を表示させ、◀|▶ボタンを使って行います。メトロノーム機能の詳細は、**メトロノームの調整**の項目をご覧ください。

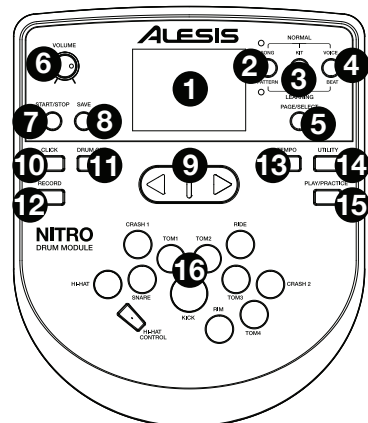
機能

フロントパネル

1. **ディスプレイ：**NITRO モジュールの現在の設定や機能を表示します。
2. **SONG/PATTERN ボタン：**ノーマルモードでこのボタンを押すと、ソングメニューに入り、ソングの選択や関連する項目の設定を行うことができます。ラーニングモードでこのボタンを押すと、パターンメニューに入り、練習用ガイドパターン（リズム&伴奏）の選択や関連する項目の設定を行うことができます。

注意：このボタンの上または下の LED が点灯することで、現在のモード（ノーマルモードかラーニングモードか）を表示します。

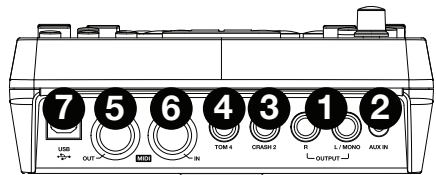
3. **KIT/RHYTHM ボタン：**ノーマルモードでこのボタンを押すと、キットメニューに入り、キットの選択や関連する項目の設定を行うことができます。ラーニングモードでこのボタンを押すと、練習用ガイドリズム（リズムのみ）の選択や関連する項目の設定を行うことができます。
4. **VOICE/BEAT ボタン：**ノーマルモードでこのボタンを押すと、ボイスメニューに入り、ボイス（ドラムサウンド）の選択や関連する項目の設定を行うことができます。ラーニングモードでこのボタンを押すと、練習用ガイドビート（スネアのみ）の選択や関連する項目の設定を行うことができます。
5. **PAGE/SELECT ボタン：**このボタンを押すことで、現在のモードやメニューの中で設定可能な項目を順番に表示します。また、このボタンを約 1 秒間長押しすると、モード（ノーマルモードまたはラーニングモード）を切り替えることができます。
6. **VOLUME ノブ：**メイン出力とヘッドホン出力の音量を調整します。
7. **START/STOP ボタン：**このボタンを押すことで、再生や録音のスタート・ストップを切り替えます。
8. **SAVE ボタン：**このボタンを押して、現在のキットの設定を保存します。



9. **◀▶ボタン**：この矢印ボタンで、ディスプレイに表示されている項目の値などを増減して設定します（通常は、キットナンバーやエフェクトのレベルなどの、数値を変更します）。
10. **CLICK ボタン**：このボタンを押して、メトロノーム機能のオン・オフを切り替えます。詳しくは、**メトロノームの調整**の項目をご覧ください。
11. **DRUM OFF ボタン**：このボタンがオンの場合、LED が点灯し、プリセットソングのドラムパートがミュートされ、伴奏パートと自身の演奏音のみ再生されます。もう一度ボタンを押すと、ドラムパートも再生されます（レコーディング時には、このボタンは自動的にオンになります）。
12. **RECORD ボタン**：このボタンを一回押すと、LED が点滅し、レコーディング待機状態になります。レコーディングを開始するには、**START/STOP** ボタンを押すか、どれかパッドを叩きます。レコーディングが始まると、LED は点灯に変わります。レコーディングを停止するには、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。詳しくは、**レコーディング**の項目をご参照ください。
13. **TEMPO ボタン**：このボタンを押すと、現在のテンポ (BPM) が表示されます。◀▶ボタンで変更可能です。
14. **UTILITY ボタン**：このボタンを押して、モジュールの MIDI 設定などユーティリティ設定にアクセスします。詳しくは、**ユーティリティ設定**の項目をご参照ください。
15. **PLAY/PRACTICE ボタン**：ノーマルモードでこのボタンを押すと、レコーディングされた演奏を再生します。ラーニングモードでこのボタンを押すと、選択されたパターンやリズム、ビートを再生し、それに合わせて練習できます（スコア表示はされません）。またスコアを表示させての練習は、自動的に録音されており、このボタンを 2 秒間長押しすると、レコーディングされたものが再生されます。詳しくは、練習用ガイドパターン、リズム、ビートについての項目をご参照ください。
16. **PAD SELECT ボタン**：これらのボタンで、各パッドにアサインされているサウンドをプレビューが行えます。スネアのボタンを押した後に RIM のボタンを押すと、リム・ショットのサウンドを確認できます。

リアパネル

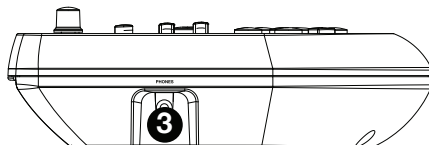
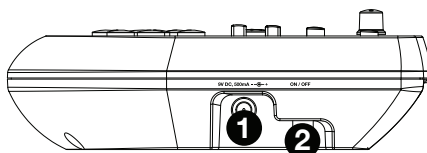
1. **OUTPUT 端子**：標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用してスピーカーやアンプなどと接続します。音量は、**VOLUME** ノブで調整します。
2. **AUX IN 端子**：標準的な 1/8" ステレオケーブルを使用して、携帯音楽プレーヤーや CD プレーヤーと接続します。この端子から入力された音声は、**OUTPUT** 端子及び **PHONES** 端子から出力されます。またレコーディング時にこの音声は記録されません。
3. **CRASH 2 入力端子**：標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用して、増設用のシンバルパッド（別売）を接続します。
4. **TOM 4 入力端子**：標準的な 1/4" TS ケーブルを使用して、増設用のタムパッド（別売）を接続します。
5. **MIDI OUT 端子**：標準的な 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 機器の MIDI IN 端子と接続します。
6. **MIDI IN 端子**：標準的な 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 機器の MIDI OUT 端子と接続します。
7. **USB 端子**：USB ケーブル（別売）でコンピュータと接続します。USB ケーブルを通して、MIDI 情報のやり取りを行います。



注意：USB 端子でやり取りされる情報は MIDI 信号のみです。音声信号は送受信されません。

サイドパネル

1. **電源端子**：付属の電源アダプタ（9V DC、500mA、センタープラス）を接続します。
2. **POWER ボタン**：このボタンを押して、モジュールの電源を入れます。オフにする場合は、1 秒間長押しします。
3. **PHONES 端子**：1/8" ステレオプラグ（ステレオミニプラグ）のヘッドホンを接続します。



注意：NITRO モジュールは、30 分間操作が行われない場合に、自動的に電源がオフになるように設定されています。もしこの機能をオフにする場合や時間を 60 分に設定する場合は、以下の手順で行います。

1. モジュールの電源を入れます。
2. **UTILITY** ボタンを何度か押して、ディスプレイに **POW** を表示させます。現在は値は 30（分）に設定されています。
3. ◀▶ ボタンを押して、**OFF**（オフ）または **60**（分）に設定します。

基本機能

ドラムキットの編集と保存

重要：

- ドラムキットを編集して保存するには、モジュールがノーマルモードである必要があります。**SONG/PATTERN** ボタンの上の LED が点灯していない場合は、この LED が点灯するまで **PAGE/SELECT** ボタンを長押ししてください。
- ドラムキットを編集した際、保存するのを忘れないでください。

まず、**KIT** ボタンを（何度か）押して、ディスプレイにキットの番号を示す **NUM xxx** を表示させ、◀▶ ボタンを押して目的のドラムキットを選択します。ドラムキットを選択しないと、キットの編集は行えません。

キットの設定を編集するには：

1. **KIT** ボタンを押して、その後目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押します：
 - **VOL**：キットの音量
 - **REV**：キットのリバープ
 - **EQH**：高音域のイコライザー
 - **EQM**：中音域のイコライザー
 - **EQL**：低音域のイコライザー
2. ◀▶ ボタンで値を変更します。

パッドの設定を編集するには：

1. 編集したいパッドを叩くか、**PAD SELECT** ボタンを押して選択します。
2. **VOICE** ボタンを押して、その後目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押します：
 - **NUM** あるいは **H-C** (ハイハット・コンビネーション)：割り当ててるドラムサウンド
 - **VOL**：パッドの音量
 - **PAN**：パッドの定位
 - **PIT**：パッドのピッチ
 - **REV**：パッドのリバーブ
 - **MID**：MIDI ノートナンバー (付録に割り当てられている初期状態の MIDI ノートナンバーのリストがあります)
 - **P-S**：パッド・ソング・スイッチ (パッドを叩いてソングをスタートさせる機能)
 - **P-N**：パッド・ソング・ナンバー (パッド・ソング・スイッチが **ON** の際に再生されるソングナンバー)
3. ◀▶ボタンで値を変更します。

※ ソング 61～80 は、いわゆるソング (曲) ではなく、ドラム音ではない音程のあるサンプル (ベース、ピアノ、ピブラフォンなど) が収録されています。パッド・ソング・スイッチとパッド・ソング・ナンバーを利用して、これらのサンプルをパッドにアサインして、ピッチを変えることができます。ソング 1～60 は、通常のソング (曲) が収録されています。

設定を保存するには：

1. **SAVE** ボタンを押します。
2. ◀▶ボタンで、保存したいユーザーキット (25～40) を選択します。
3. もう一度 **SAVE** ボタンを押して保存します。

練習用ガイドソングについて

重要：ガイドソングを演奏するには、モジュールがノーマルモードである必要があります。**SONG/PATTERN** ボタンの上の LED が点灯していない場合は、この LED が点灯するまで **PAGE/SELECT** ボタンを長押ししてください。

演奏するソングを選ぶには：

1. **SONG** ボタンを (何度か) 押して、ディスプレイにソングの番号を示す **NUM xxx** を表示させます。
2. ◀▶ボタンでソングを選択します。
3. **START/STOP** ボタンで再生させます。

注意：再生中、演奏しているパッドは該当する **PAD SELECT** ボタンが点灯して知らせます。この機能をオン・オフするには、**PAD SELECT** ボタンの **KICK** ボタンを押します。

テンポを設定するには、**TEMPO** ボタンを押して、◀▶ボタンで **BPM** の値を変更します。◀▶ボタンの両方を同時に押すと、初期値のテンポに戻ります。

ドラム以外のパートの音量を調整するには、**SONG** ボタンを押した後、**PAGE/SELECT** ボタンを (何度か) 押して、**ACC xxx** を表示させ、◀▶ボタンで調整します (**000～032**)。この設定は、モジュールの電源をオフにすると初期値に戻ります。

ドラムパートの音量を調整するには、**SONG** ボタンを押した後、**PAGE/SELECT** ボタンを（何度か）押して、**DRM xxx** を表示させ、◀▶ボタンで調整します（000~032）。ドラムパートを完全にオフにするには、**DRUM OFF** ボタンを押すことで、ミュートされます。この設定は、モジュールの電源をオフにすると初期値に戻ります。

練習用ガイドパターン、リズム、ビートについて

重要:ガイド用のパターンやリズム、ビートを演奏するには、モジュールがラーニングモードである必要があります。**SONG/PATTERN** ボタンの下の LED が点灯していない場合は、この LED が点灯するまで **PAGE/SELECT** ボタンを長押ししてください。

1. ガイド用のパターンやリズム、ビートは、ラーニングモード時に、それぞれ **SONG/PATTERN**、**KIT/RHYTHM**、**VOICE/BEAT** ボタンで選択します。それぞれ以下の内容になっています。
 - **パターン (PTN xxx)** : ドラムキット&伴奏
 - **リズム (RHM xxx)** : ドラムキット
 - **ビート (BEA xxx)** : スネアのみ
2. ◀▶ボタンで目的のパターンやリズム、ビートを選択します。
3. **スコア表示なしで練習するには**、**PLAY/PRACTICE** ボタンを押します。1 小節分のカウント（ディスプレイに **PRA** と表示されます）の後、パターンやリズム、ビートがリピート再生されますので、それに合わせて練習が可能です。ここで何度も練習し、パターンやリズム、ビートを覚えましょう。
更に、**スコアを表示させて演奏するには**、**START/STOP** ボタンを押します。1 小節分のカウント（ディスプレイに **EXM** と表示されます）の後、ドラムパートがミュートされて 1 度だけ再生されますので、覚えたパターンやリズム、ビートを演奏します。再生が終わると、ディスプレイにはどのくらい正確に叩けたかを判定するスコア（**SCO**）が表示されます。

スコアを表示させての練習は、自動的にレコーディングされています。**PLAY/PRACTICE** ボタンを 2 秒間長押しすると現在レコーディングされたものが再生されます（**PLY** と表示されます）。もう一度 **PLAY/PRACTICE** ボタンを押すと再生は停止されます。

注意：

- ディスプレイに **EPY** と表示される場合、レコーディングが行われていないためメモリが空であることを示します。スコアを表示させての練習を行って、レコーディングしてください。
- ディスプレイに **FUL** と表示される場合は、モジュールのメモリが一杯になっていることを示します。新しい演奏をレコーディングすることで、メモリはクリア / 上書きされます。

ラーニングモードの設定をするには：

ラーニングモードのパターンやリズム、ビートそれぞれに異なる設定を行うことができます。ラーニングモードで目的のパターンやリズム、ビートを選んだ後、以下の目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押し、◀▶ボタンで値を変更します：

- **パターン (PTN)** : (**LEV**) 難易度、(**ACC**) 伴奏の音量、(**DRM**) ドラムの音量
- **リズム (RHM)** : (**LEV**) 難易度、(**DRM**) ドラムの音量
- **ビート (BEA)** : (**DRM**) ドラムの音量

その他の機能

ユーティリティ設定

ユーティリティ設定では、パッドのカスタマイズ設定や MIDI の設定などが行えます。

ユーティリティ設定を行うには：

1. ノーマルモード状態で、設定したいパッドを叩くか、**PAD SELECT** ボタンを押して選択します。
2. **UTILITY** ボタンを押し、その後目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押します：
 - **SEN (感度)**：パッドの感度を設定します。値が高いほど、少ない力で大きい音を出すことができます。
 - **THR (スレッシュホールド)**：パッドを叩く強さをどれくらい小さいものまで拾って反応するかを設定します。値が高いほど、音を出すのに強く叩く必要があります。
 - **CRO (クロストーク)**：パッドを叩いた時に、意図せず隣のパッドが反応するのを防ぐための設定です。値が高いほど、クロストークによって発音しにくくなります。
 - **CUR (ペロシティ・カーブ)**：叩く力 (ペロシティ) によってどのようなダイナミクスで反応するかを設定します。付録に 6 つのカーブの図がありますので、ご参照ください。
 - **R-S (リムの感度)**：パッドのリムの部分を叩いた時の感度を設定します。
 - **S-S (ハイハット・スプラッシュの感度)**：ハイハットペダルを弾くように踏んですぐに離すスプラッシュ奏法の感度を調整します。
 - **LOC (ローカルモード)**：MIDI 設定の項目をご覧ください。
 - **GM (GM モード)**：MIDI 設定の項目をご覧ください。
 - **POW (オートパワーオフ)**：オートパワーオフの設定を行います (オフ、30 分、60 分)
3. ◀▶ボタンで値を変更します。

設定を保存するには、**SAVE** ボタンを押します。保存せずにモジュールの電源をオフにすると、すべて初期値に戻ります。

メトロノームの調整

メトロノームを使用するには：

メトロノームを使用するには、**CLICK** ボタンを押します。テンポを調整するには、**TEMPO** ボタンを押して BPM を表示させ、◀▶ボタンを使って行います。

メトロノームの設定を行うには：

1. **CLICK** ボタンを押してメトロノームをオンにし、その後目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押します：
 - **SIG (拍子)**：メトロノームの拍子を設定します。先頭の数字を 0 に設定すると、小節の頭を示すアクセントの音がオフになり、どの拍も同じ音色でカウントします。
 - **INT (インターバル)**：メトロノームがカウントする音符を設定します (4、8、12、16 分音符)。
 - **VOC (ボイス)**：メトロノームの音色を設定します。
2. ◀▶ボタンで値を変更します。

レコーディング

レコーディングするには：

1. モジュールをノーマルモードにします。**SONG/PATTERN** ボタンの上の LED が点灯していない場合は、**PAGE/SELECT** ボタンを、その LED が点灯するまで長押ししてください。
2. **RECORD** ボタンを押します。LED が点滅し、メトロノームが自動的にオンになり、録音待機状態になります。**RECORD** ボタンをもう一度押しすと、レコーディングがキャンセルされます。
3. レコーディングを開始するには、**START/STOP** ボタンを押すか、どれかパッドを叩きます。レコーディングが始まると、LED は点灯に変わります。
4. レコーディングを停止するには、**START/STOP** ボタンあるいは **RECORD** ボタンを押します。**RECORD** ボタンの LED は消灯します。
5. 録音したものを再生するには、**PLAY/PRACTICE** ボタンを押します。再生中にもう一度 **PLAY/PRACTICE** ボタンを押すと、停止します。

注意：

- ラーニングモードで、スコアを表示させての練習は、自動的にレコーディングされています。
- ディスプレイに **FUL** と表示される場合は、モジュールのメモリが一杯になっていることを示します。新しい演奏をレコーディングすることで、メモリはクリア / 上書きされます。

ソングと一緒に自身の演奏を録音するには：

1. 一緒に録音したいソング・ナンバーを設定します（以下の、レコーディング設定をご参照ください）。
2. **RECORD** ボタンを押して、レコーディングを開始します。
3. 録音したものを再生するには、**PLAY/PRACTICE** ボタンを押します。再生中にもう一度 **PLAY/PRACTICE** ボタンを押すと、停止します。

レコーディング設定：

1. モジュールをノーマルモードにします。**SONG/PATTERN** ボタンの上の LED が点灯していない場合は、**PAGE/SELECT** ボタンを、その LED が点灯するまで長押ししてください。
2. **RECORD** ボタンを押します。LED が点滅し、メトロノームが自動的にオンになり、録音待機状態になります。
3. その後目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押します：
 - **SNG (ソング)**：レコーディングの際、一緒に流すソングを設定します。
 - **KIT (キット)**：レコーディングの際のドラムキットを設定します。
 - **BPM (テンポ)**：レコーディングの際のテンポ (BPM) を設定します。
 - **SIG (拍子)**：レコーディングの際の拍子を設定します。
 - **INT (インターバル)**：メトロノームがカウントする音符を設定します。
 - **DRM (ドラム)**：ソングのドラムパート音を一緒に録音するかどうかを設定します。この機能をオフにすると、上の SNG でソングを 1~60 に設定した場合、**DRUM OFF** ボタンが点灯し、ソングに含まれるドラムパートはミュートされます。SNG でソングを設定していない場合、あるいはソングを 61~80 に設定した場合は、この機能は無効になります。
 - **PRC (プリ・カウント)**：この機能がオンの場合、レコーディングが始まる際に、1 小節のカウントダウンが入ります。オフの場合には、録音待機状態でパッドを叩くか **START/STOP** ボタンを押すと直ちに録音が始まります。
5. ◀▶ ボタンで値を変更します。

MIDI設定

NITRO モジュールを外部 MIDI モジュールなどに接続すると、以下のことが可能になります。

- NITRO キットのパッドを叩いて、外部 MIDI 機器のサウンドをトリガーできます。
- 外部 MIDI 機器から、NITRO モジュールのサウンドを鳴らすことができます。

NITRO キットの各パッドが送信する MIDI ノートナンバーを変更するには、前述の**ドラムキットの編集と保存内のパッドの設定を編集するには**：をご参照ください。

MIDI 設定を行うには：

1. ノーマルモード状態で、編集したいパッドを叩くか、**PAD SELECT** ボタンを押して選択します。
2. **UTILITY** ボタンを押し、その後目的の項目が表示されるまで **PAGE/SELECT** ボタンを押します：
 - **LOC (ローカルモード)：**
 - ・ **オン**の場合、NITRO キットのパッドを叩くと、NITRO モジュールのサウンドがトリガーされます。
 - ・ **オフ**の場合、NITRO キットのパッドを叩くと、NITRO モジュールのサウンドライブラリはバイパスされ、NITRO モジュールの MIDI OUT 端子に接続されている外部 MIDI デバイスをトリガーします。
 - **GM (GM モード)：** 次の**モジュールのプログラムにアクセスするには**も併せてご参照ください。
 - ・ **オン**の場合、MIDI チャンネル 10ch の入力があった場合、NITRO モジュールは、GM (General MIDI) のドラム&パーカッションサウンドのみを使用し、再生します。
 - ・ **オフ**の場合、MIDI チャンネル 10ch の入力があった場合、NITRO モジュールは、内蔵のドラムサウンドを使用して、再生します。外部 MIDI 機器からのプログラムチェンジを受信してドラムサウンドを切り替えます。
3. ◀▶ボタンで値を変更します。

モジュールのプログラムにアクセスするには： MIDI キーボードやシーケンサーなどの外部 MIDI デバイスを使用すると、NITRO モジュールのドラム以外（ピアノやベース、ストリングスなど）のサウンドライブラリ（プログラム）にアクセスできます。MIDI チャンネル 1～16 の信号を受信し、プログラムチェンジ信号にも対応しています。但し、10 チャンネルはドラムサウンド固定です。

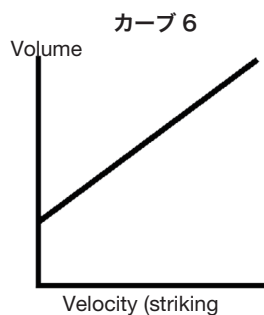
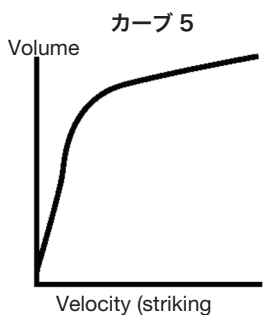
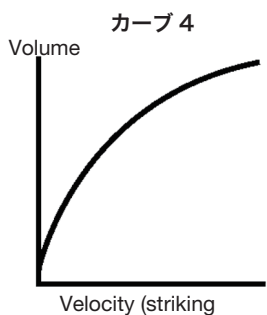
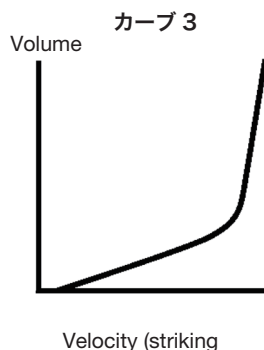
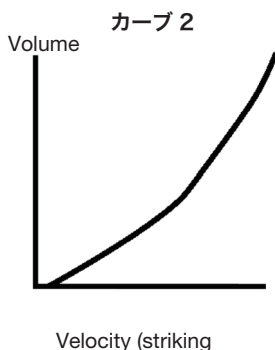
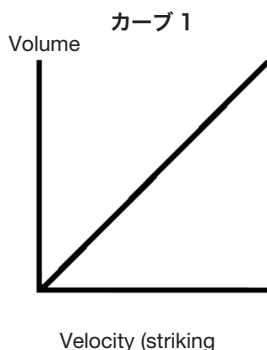
外部シーケンサーに録音するには：

1. 標準的な 5 ピン MIDI ケーブル（別売）を使用して、モジュールの **MIDI OUT** 端子と外部 MIDI シーケンサーの **MIDI IN** 端子、モジュールの **MIDI IN** 端子と外部シーケンサーの **MIDI OUT** 端子をそれぞれ接続します。
2. シーケンサーのトラックの MIDI チャンネルを 10ch に設定して、シーケンサーの録音を開始します。
3. NITRO キットを叩いて演奏します。
4. シーケンサーの録音を停止します。シーケンサーに演奏が記録されました。

注意：

- **START/STOP** ボタンを押すと、MIDI 信号の **FA**（スタート）、**FC**（ストップ）が送信されます。
- 他の外部 MIDI 機器と同期する際、NITRO モジュールはマスターにはなりませんが、スレーブにはなりません。NITRO モジュールからは常に MIDI クロック情報が出力されています。

ベロシティ・カーブ



パッド MIDI ノートナンバー

パッド	MIDI ノートナンバー
Kick	36
Snare	38
Snare Rim	40
Tom 1	48
Tom 1 Rim	50
Tom 2	45
Tom 2 Rim	47
Tom 3	43
Tom 3 Rim	58
Tom 4	41
Tom 4 Rim	39

パッド	MIDI ノートナンバー
Ride	51
Crash 1	49
Crash 2	57
Hi-Hat Open	46
Hi-Hat Half-Open	23
Hi-Hat Closed	42
Hi-Hat Pedal	44
Splash	21

技術仕様

最大同時発音数：64

ドラムキット： 40 (プリセット：24, ユーザー：16)、11 (GM キット)

サウンド： 385 (ドラム、パーカッション、SFX)、7 (ハイハット・コンビネーション：オープン / クローズ)

エフェクト： リバーブ、3 バンド・イコライザー

シーケンサー： ノーマルモード：80 ソング、ラーニングモード：20 ビート、12 リズム、10 パターン、解像度：1/4 音符あたり 120 ティック、最大記憶ノート数：およそ 1600 ノート

テンポ： 30~280 BPM

端子： 25 ピン・トリガー用スネークケーブル端子、ヘッドホン端子 (ステレオミニプラグ)、外部入力端子 (ステレオミニプラグ)、増設用トリガー入力端子 x 2 (1/4" TRS 端子)、メイン出力端子 (標準プラグ、L/R)、MIDI 入出力端子 (5 ピン DIN)、USB 端子

電源： AC アダプタ (9V DC、500mA、センタープラス)

サイズ： 約 147 x 112 x 183mm

重量： 約 0.5kg

商標及びライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

alesis.jp